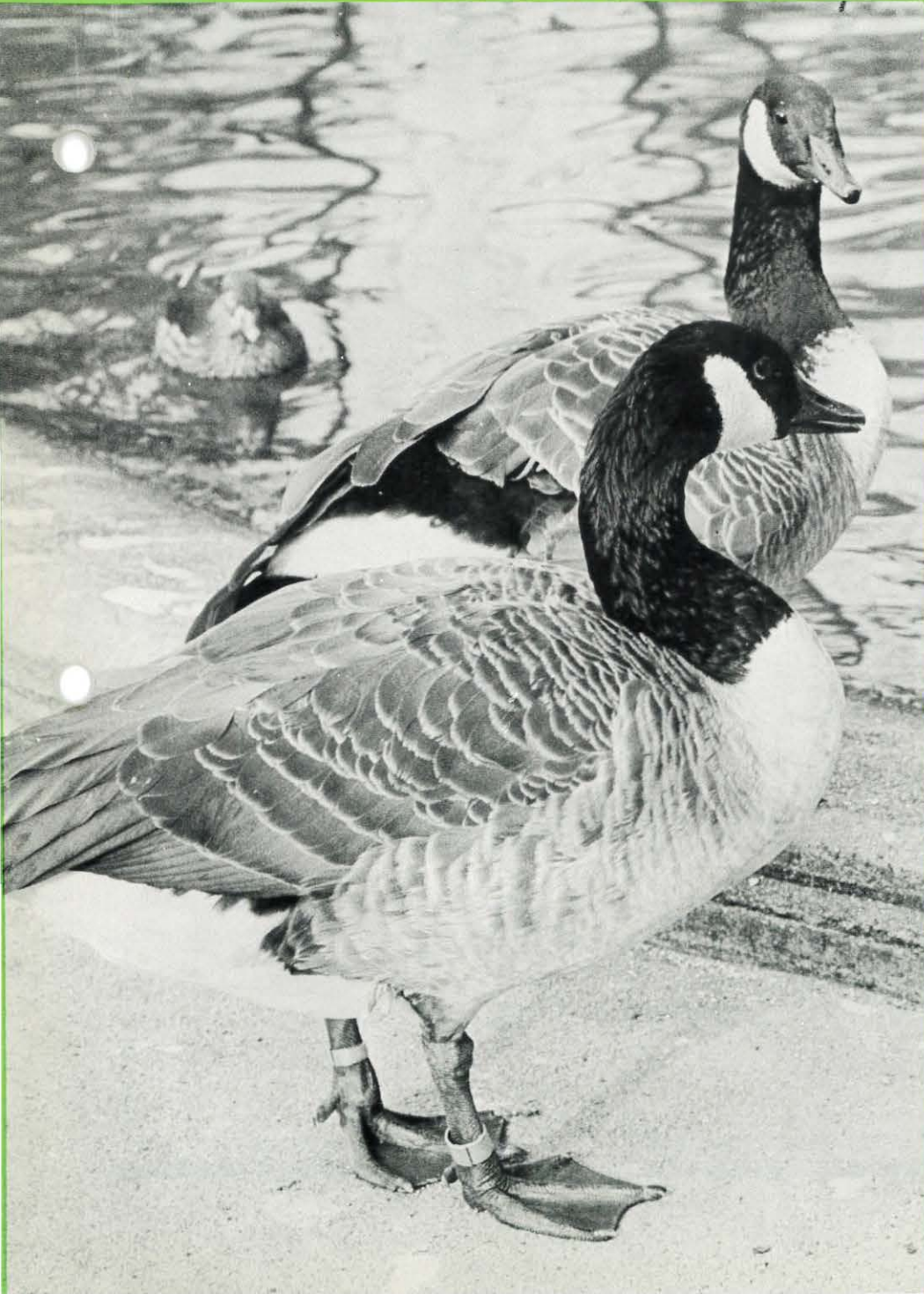


# なきごえ



1973

5

大阪市  
天王寺動物園協会

# 動物と私

久川 芳 蔵



先般動物園の係の方から、この雑誌に何か原稿を書くようにと依頼があった。私は、文章を書くのがいが手で、よほどお断りしようかと思ったが、毎月「なきごえ」を送って頂いているし、又、昨年仔犬のことでお世話になったこともあるので、その御恩返し

の一端にも思っ

この拙文が書くことを決心した。私は、子供の時から動物が好きで、大きくなってからも、時々動物園へ行っては、半日位、じっと動物を無邪気にながめていることがあった。家でも、小鳥を飼ったり、犬や猫を飼ったりした。

動物は、実に素直で邪気がない。飼主の気持をよく反映し、表情にあらわす。家族の者の性格や、癖もよく覚えている。こちらが言葉をかけたり、しかったりした時、首をかしげて見上げている姿など、ほんとに可愛いものである。動物園の飼育係の方々が、平素から寝食を忘れ、勤務時間も気にせず、我子のように動物を可愛いがって世話をされる気持がよくわかる。

我々には、犬や猫のような家畜の表情しか分らないが、恐らく、飼育係の方々には、猛獣や爬虫類の気持でも、よく分るようになるのであろうと思う。たゞ、私達が動物を飼って困るのは、彼等が病気をした時である。すぐ近所の獣医さんに診てもらうにしても、どうも言葉が通じないので、心配しながらもどうしてもやれないことが、何とも情けない。色々と介抱してやった末に死んでしまった時は、二、三日は食事も禄にのどに通らず、一週間位は毎日気が滅入って仕方がない。環境事業局から取りに来て貰う迄に、何度も家族でお経をあげてやって、成仏するように念じては、気持ちを鎮めようとするが、仲々平靜に戻らないことが多い。

## なきごえ5月号もくじ

動物と私	2・3
動物園グラフ(ジャッカルの赤ちゃん)	4・5
大阪府下の野鳥の保護について	6
立鳥の家を訪ねて	7
天王寺動物園に来る野鳥たち	8
天王寺動物園のうみねこ	9
小学生の動物観察(にわとり、しろ)	10
動物園ニュース	11

昨年動物園の方にお世話になって、三河犬の仔犬を飼ったが、この仔犬がよく病気をしたので、何度も動物園の獣医さんに相談したり、動物愛護会に一時預けたりしたが、その時、丁度同じ位に生まれた動物園の虎の赤ちゃんと仔犬が、大変仲よしになって、元気にじゃれあっていたことがあった。仔犬が、虎の子にかぶりついたり、上に乗ったりしても決していやがらず、ほんとに仲良く遊んでいたことがあった。仔犬はその後丈夫になって、相当大きくなっていったが、急病で死んでしまって、残念なことをしたが、あの虎の赤ちゃんは、今では立派な猛獣の威厳を具えた大きな虎になって、動物園を訪れる子供達を喜ばしていることであろう。そんな虎を見れば、又、死んだ私の仔犬のことを思い出すことであろう。

その仔犬が死んでから、家では動物を飼っていない。

ところが最近、大変なことが起った。ある日のこと、息子が裏の物置に猫がいると言うので、どこかの猫が入って来ているのであろうと思って見にゆくと、いるわいるわ、四、五匹の猫が走り廻っている。よく見ると、とても可愛いきれいな子猫(生後一ヶ月位と思われる)が三匹と母猫である。

子猫は、一早く物の後へ隠れてしまったが、母猫はこわがりもせず、ニャオニャオと鳴きながら、私の足許へ寄って来た。どうやら、大分前から住みついていたのか、又、何処かで子猫を産んで引移って来たのか分らないが、とに角、今では、この物置が住家になっているらしい。家内が「猫の四匹も住み付かれたら困るから、何とかしなさい。」と言っていたが、三匹の子猫をかかえて、お腹をすかしているらしい母猫のことを思うと、捨てに行く気にもなれず、最初は家内に内緒で、食物の残り等をやってしたが、近ごろは家内も根負けして餌をやっている。

母猫は毎朝、子猫に運動させたり、木に登る方法を教えたりしている。最近では、私達にも母猫の餌をねだったり、子猫を呼んだりしている声等の見分けがつくようになって来た。

柿の木から屋根に上って、日溜りで親子がじゃれ合っている姿を見ていると、とてもとても追出す気にはなれそうもないこの頃である。

(大阪市 収入役)

## 表紙の写真説明

“カナダガン”

名前のとおり、カナダやアメリカにすんでいる、大型のガンです。首から顔にかけて、特徴のあるようがあり美しい。少なくなっていますので、現在、保護されています。



## “シュバシコウのひなが誕生”

今年も3つの巣で、10羽がかえりました。しかし、うち3羽が、惜しくも死にました。また、1羽は人工育雛を試みています。

# 動物園グラフ

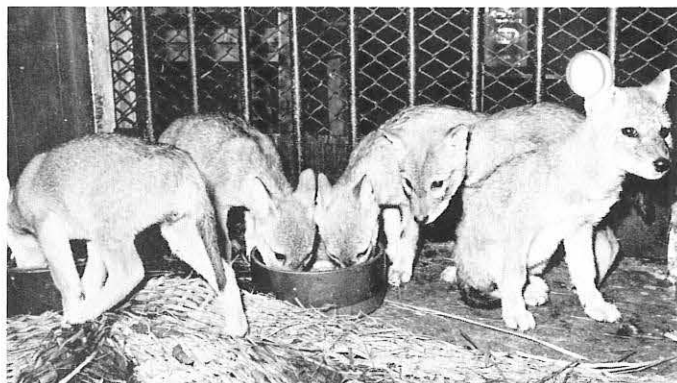
## “ジャッカルの赤ちゃん”

3月8日、ジャッカルの赤ちゃんが、5頭生まれました。親が面倒をみなかったため、すぐ引きとって、飼育係の手で育てました。今では立派に成長しましたので、そのようすを写真でご紹介します。

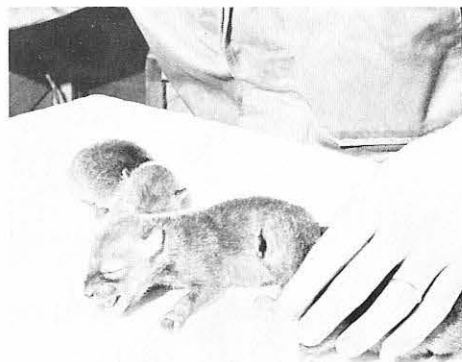


↑ 出産後1週間目。  
まだ、目もあいていない。  
おす1頭、めす4頭。

飼育係に、肉食獣用のミルクをのませて  
↓ もらうひよわな赤ちゃんジャッカル。



↑ 最近のジャッカルの子供たち。  
えさの肉をとりあって食べるようすは、やはりオオカミの仲間です。(生後2カ月)



← 哺乳は2時間ごと、小便もみんな世話してやらねばならず、5頭もいると大変な手間(1週間目)



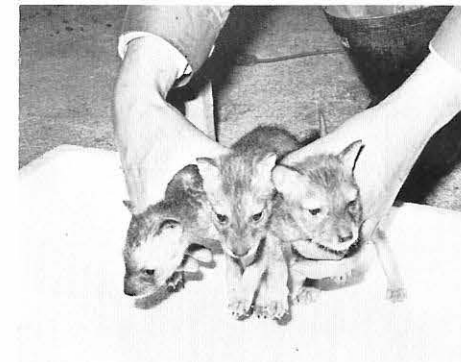
↑ 生後3週間、まだ乳だけしか飲まないが、だいぶしっかりしてきました。



↑ 一しょに入れておくと、乳首をさがして仲間のおしりをすいあいしていけないので、写真のようにわけました。



← お乳の順番がまちどろしくて、背のびしている赤ちゃん。  
もう歯も生え出してきました。 ↓



## 4月の動物園日記

- 4/1. ダマシカ2頭が入園しました。
3. キューバフラミンゴが産卵し、抱卵に入りました。キョン2頭を韓国の動物園に寄贈するため、動物園を出発し、空港の動物検疫所入りをしました。
4. フラミンゴが産卵しました。合計2コが卵を抱きはじめました。ダマシカの入園式がありました。
5. ブタの赤ちゃんが12頭生まれました。しかし、このうち、4頭は母ブタにおしつぶされたりして死んでしまいました。
7. コブハクチョウ1羽が他のおすにつつかれて死にました。

8. ジャッカルの赤ちゃん5頭が人工哺育で立派に成長していますので、この日、一般に公開しました。
9. ファンボルトペンギンが2羽ふ化しました。
10. ヒクイドリとハゲコウがや、食欲がなくなりましたので、手当をしてやりました。キョン2頭を大韓航空で韓国の昌慶苑動物園に贈りました。5月中にも返礼として、ヌクテ1頭が贈られてくることになっています。
12. アカリクガメが前肢のつけ根から出血していますので治療をしています。
13. ゴリラのおすのゴロが下痢をしていますので、治療をしています。
14. ヨーロッパフラミンゴも産卵しました。
15. ヒトコブラクダが食欲が出ず弱ってきました。も

うずっと前から右後肢が悪く治療を受けているのです。

17. 抱卵中のフラミンゴの巣の1つから卵がなくなっていました。巣の下を池をくまなくさがしてもみあたらなかったため、念のため野猫やネズミ対策にのりだしました。
19. ヒトコブラクダが起てなくなりました。
20. フラミンゴがまた産卵し、合計6つの巣で抱卵に入っています。
21. 今月9日にふ化したファンボルトペンギン2羽のうち1羽が借くも死んでしまいました。
22. 今年はじめてシュバシコウ4羽がふ化しました。続いて次々の巣でふ化することでしょう。
24. シュバシコウ2羽がふ化しました。

25. ヒトコブラクダが死にました。関節炎もありましたが、20才を越す年令で、老衰によるものと思われます。栗林公園動物園から、ガビアル2匹が入園し、エチオピアライオンの赤ちゃん1頭を譲渡しました。
26. シュバシコウの1羽を人工育芻することにしました。
28. アナグマが大阪の近郊で捕えられ入園しました。
29. “動物園まつり”がはじまり、園内で動物パレードやステージでオランウータンの演技、幼稚園児のかわいい遊戯に人形劇などがありました。
30. 29・30日ともよいお天気に恵まれ、園内は大変な賑わいでした。

## 大阪府下の野鳥の保護について

西村直彬

大阪は区域が狭いところへ、耕地、森林の減少、池、海浜の埋立が進み、汚水、排気ガスなどの公害で、野鳥にとって恵まれたところではありません。それでも270種の野鳥が記録され、日本産鳥類の半数以上を占めています。これは全国的にみて多い方です。前に海、背後に山を控え、地理的条件に恵まれているので、各地から鳥が訪れたり通過したりするからですが、また、これらの鳥を熱心に観察する人が多いからです。日本野鳥の会大阪支部でまとめた大阪の野鳥は次のとおりです。

区分	普通種	稀種	計	備考
留鳥	43	6	49	( )は繁殖種
夏鳥	27	3	30	
冬鳥	66	29	95	
旅鳥	39	29	68	
迷鳥	2	26	28	
計	177 (71)	93 (6)	270 (77)	

これらの野鳥は、人間生活にとって必要なものです。即ち、沢山の昆虫を食べて、森林や作物を害虫から守り、自然界のバランスを保つ役目を果し、また、科学の情報提供の材料としても大切です。一種でも絶滅したら、二度と人の手で作り出すことはできません。野鳥の多い環境は、豊かな自然の存在を、つまり人間にとってすみよい環境を示しているのです。野鳥を含めた自然は、私たちが先祖から受け継いだみんなの共有財産であり、次代に伝えなければならない大切なものです。

以上のようなことから、大阪府では、鳥獣保護法により長期間にわたって計画性をもった鳥獣保護施策を積極的に進めるため、鳥獣保護事業計画（S48～S52の5年間）を作って、次の保護事業を実施し

ています。

①要所に鳥獣保護区（13カ所 8,583ha）を設け、野鳥が住みよい環境をつくるため、野鳥の好きな実のなる木の植栽、水場、餌場など整備しており、鳥獣保護員（24名）を委嘱し、担当地区を決めて巡回しています。特に生駒山鳥獣保護区の府民の森の一部27haに、野鳥保護のモデル地区として小鳥の森を3年計画で造成中で、天然林を育てて、人間と野鳥との交歓の場をつくっています。

②国鳥ともなっているキジを養殖して、府の生息適地である鳥獣保護区などに毎年2,000羽程を放鳥して、保護繁殖を図っていますが、今後は、キジ以外の養殖可能な鳥も加えて行く予定です。

③鳥獣保護思想の普及啓もうには、バードウィークを中心に、広報誌の活用、野鳥のシオリ、愛鳥ポスターの配布など、学校関係や一般府民に、その主旨徹底を図り、探鳥会、展示会などの行事を野鳥保護団体と共に実施しています。近年、野鳥飼養者が増加傾向にあり、これに伴う違法な捕獲、飼養について、司法警察員の指名を受けた職員、鳥獣保護員を中心に、警察当局の協力を得て、指導、取締りを強化して行きます。愛鳥モデル校に指定している東大阪市立永和小学校に野鳥病院を併設し、傷病野鳥の保護に当たっていますが、今後は、府において、総合的な鳥獣保護センターの設置を計画しています。

④鳥獣保護事業の基礎となる鳥獣の種類ごとの生息分布図、生息台帳など正確な資料の作成集取、或は応用調査なども行なって行く計画です。また、野鳥の愛護団体として、日本野鳥の会大阪支部、東大阪野鳥の会、南大阪野鳥の会などあり、夫々、独自の活躍をしており、これらの育成につとめています。

何れにしても、野鳥の保護は、府が、いろいろな施策を行なっても、府民全体の支持がなくては駄目で、府民一人一人が、野鳥を保護するよう努めたいものです。

(大阪府 農林部)

## 文鳥の家を訪ねて

松岡恵爾

東大阪市玉串元町2丁目4の18、辰己真三さんのお宅は有名な小鳥の家です。

昭和42年10月に飛んで来た文鳥に、そっと餌をやったのが始まりで、すっかり居付いてしまいました。43年、44年と年毎に増加して、最高は500羽位になったそうです。そのうち、留鳥組と移動組が出来て、現在は200羽位がいつも辰己さんのお宅に留って、毎日餌の時間を待って、庭の木や近くの電線に目じる押にならなっていました。(48.3.18日)

餌の時間は、午前7時、11時、午後3時の3回で、餌は日量1kg位のヒエを毎日食べています。

食べ終ると、寒中でも元気もの、数羽が水浴するそうです。

繁殖は春5～6月と、秋9月に仲の良い2羽が、近くの巣箱で子供を育てるそうです。他に、庭に来る鳥は、キレンジャク、メジロにヒヨ位だそうです。

文鳥を集めることについて、近所の人が似ねたが続かなかつたと云うことなので、文鳥集めのこつのようなものをお訪ねしたら。

文鳥達が鋭敏なことは云うまでもありませんが、辰己さんの観察によると、音と動作が重なると大変に恐れるそうです。例えば、ジェット機が上空を通過しているときは、絶対に動かないようにしているそうです。近所で捕獲を試みたところ、文鳥達の信用は一度にくずれ、その家には全々近よらなくなっ

たそうです。文鳥達の最大の敵はモズです。あるとき、餌をやる時間に餌をやっても一向に降りて来ないので、庭内をくまなく探すと、猫がしのび込んでいたそうです。

動物達と私達の間は信頼のみで、絶対ゴマカシの立入る余地がないことを、文鳥が教えてくれているようです。

辰己さんは今、毎日池の島の野鳥の観察をしております。こゝは玉串元町より、1km位の生駒よりの地点ですが、ツルシギ34羽、タマシギ10羽、タシギ50羽、タゲリ20羽、チュウシャクシギ5羽などが



開発のために残り少なくなった沼池を中心に、近くまでやって来ているようです。昭和46年8月には、110羽のシラサギの中に、1羽のクロトキを発見したそうです。これらの鳥に対して、何とか

安住の場を設けてやりたいと云うのが辰己さんの願いでした。(大阪府は、こゝを禁猟区に指定しました。)

お訪ねしたときは、奥様だけでしたが、間もなく帰宅された辰己さんの姿は、防寒服にゴム長姿に、肩から双眼鏡をかけておられました。

このような愛鳥家を中心に、身近に来ている鳥達の信頼を裏切らないような、環境作りを基礎にしての開発こそ、これからの開発ではないかと痛感し乍ら、小鳥の家をあとにしました。

(動物園主査)

## 天王寺動物園に来る野鳥たち

大川光雄

現在、大阪府はマンモスタウンの造成、臨海工業地帯などによって急速に自然が破壊され、野鳥たち鳥たちはその生息地を失っています。

当園は大阪市のほぼ中央に位置し、敷地面積10万㎡で、樹木数も相当ありますが、周囲が繁華街である為、野鳥にとっては決して良い環境とはいえません。然し当園の緑をしたって、数種の野鳥が集まって来てくれます。当園では昨年1月より、園内に集まる野鳥の種類や数を記録する事になりました。調査はまだ始まったところで期間も短かく、又、仕事の合い間をみつけてメモをとる程度のもので、これからは更に正確な観察が出来る様な方法を、検討したいと思っております。そしてこれらのデータの積み重ねが生かされ、野鳥に安住の地を与える資料となって、又、自然保護運動に役立てばと今後も観察を続けたいと思っております。

### 園内で繁殖した鳥

園内で繁殖が確認されたのは、スズメ、ムクドリ  
の2種です。今年3月、ムクドリが高速道路の支柱  
の上で営巣しているのを確認しました。スズメは各  
動物舎で繁殖しています。

### 1、園内野鳥一覽 1972年1月～1973年3月

ハシブトガラス、スズメ、ウグイス、センダイム  
シクイ、ムクドリ、キセキレイ、セグロセキレイ、  
キジバト、モズ、ツグミ、ヒヨドリ、シメ、カシラ  
ダカ、メジロ、ツバメ、コジュケイ、コルリ、ジョ  
ウビタキ (計18種)



### 2、1973年4月5日 園内の野鳥

スズメ、ハシブトガラス、ウグイス、メジロ、ム  
クドリ、ヒヨドリ (計6種)

### 3、1973年 園内に住みついた洋鳥

ワカケホンセイインコ、セキセイインコ、コウカ  
ン鳥 (計3種)

### 4、1973年 園内に植えてある野鳥の好きな 実のなる木

くすのき、さくら、しらかし、いちじく、えのき、  
かき、びわ、さんごじゅう、ねづみもち、ふくらも  
ち、やつで、あおき、まゆみ (計13種)

参考までに、バードウィークとは鳥類を保護し、  
その減少を防ぐ目的で、1947年に始まった愛鳥運動  
のひとつで、毎年5月10日から1週間、野鳥保護の  
集いが催されています。1946年の秋、アメリカの鳥  
類学者であるオリバー・オーステン博士が来日され、  
日本の鳥類を調査し、野鳥の少いのに驚き、政府の  
関係者や鳥類学者を招いて、いろいろと野鳥を殖や  
す方法について相談した時に定められたものです。

(動物園 飼育係)

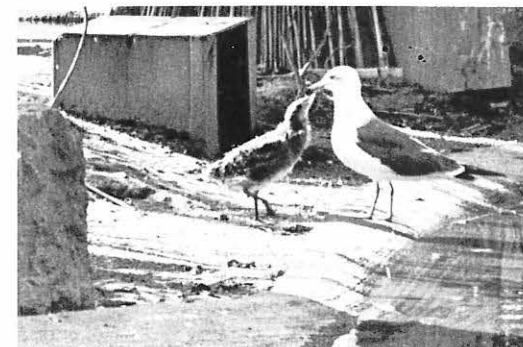
## 天王寺動物園のうみねこ

丸本 守

かもめの種類で日本海岸において繁殖しているも  
のには、うみねことおおせぐろかもめがあります。  
本州ではうみねこのみです。おおせぐろかもめは北  
海道です。うみねこは比較的良く人に知られている  
鳥で、鳴き声が猫の声に似ている為、うみねことい  
う名がついたものと思われます。海岸べりで良く飛  
んでいるのや、止まっているのが見られます。その  
中でもうみねこの鳥として有名なのは、島根県の経  
島の集団営巣で、天然記念物になっています。

産卵、孵化、育すうという事は大変むずかしいこ  
とですが、1972年、始めて天王寺動物園において産  
卵、孵化に成功しましたので、その報告を簡単に書  
いてみました。

この母鳥(うみねこ)は昭和43年3月に入園した  
もので、飼育場はじゅんけい、がんかも、シュバシ  
コウ、さぎ類など約30種130点いる水禽放養舎で、  
いろいろな種類と共に雑居させておりました。そし



て1972年3月の中頃、かも用にと作った巣に、うみ  
ねこが4月頃から占領し、営巣し始めました。産卵  
は4月30日に第一産卵、5月2日に第二産卵しまし  
た。第二産卵から抱卵にはいり、6月3日に2卵共  
孵化しました。他の鳥から危害を加えるか心配しま  
したが、親鳥の懸命な保護のもとに無事育ちました。  
ひなの餌は、最初の1週間程は雌がほとんど与えて  
いました。小ブナ、小アジ、どじょうなどです。特  
にどじょうをよく与えておりました。与え方はシュ  
バシコウと同じで、一度食べた物を吐き出し、それ  
をひなに与えています。そして6月15日頃から巣か  
ら出て遊んでいるのが見られ、6月25日頃からプー  
ルに親子そろって泳いでいるのが見られました。7  
月になるとひなは少し高い岩に登り飛ぶ稽古を始め、  
一人立ちする準備をしているように見られますが、  
まだまだ自力では餌が食べられず、親からもらって  
いました。9月頃から一人で自由に飛び、餌も食べ  
られるようになりました。

1年たった現在まで、まだうみねこの特徴ある羽  
色(白色)が出ず、薄こげ茶色をしています。親鳥  
になるには、後2年程かかります。このように海鳥  
は成鳥になるのが遅く、3年程かかるものと思いま  
す。

(動物園飼育係)

## 小学生の動物観察

にわとり

大阪市立桃陽小学校 1ねん  
きたもと とよつぐ

ぼくのいえのにわとりは、いつもあさになると、コケッコとまいにちなきます。このにわとりは、おまつりのときに、おかあさんに、かってもらいました。なまえは、ぴいことつけました。はじめは、ひよこでした。いろもきいろでした。えさは、おにぎりのごはんつぶを、ひとつひとつ、つついてたべた。なっばをもっていくと、ぴいこは、すぐについてきます。そしてよろこんで、たべました。ぼくは、ぴいこを、てにのせてとばすと、やねにのぼることもあります。ぼくがてをもっていくとすぐに、てをつきます。ぼくが「ぴいこ。こい。」という、あ

しろ

大阪市立桃陽小学校 1ねん  
いながき たかし

ぼくのいえに、しろというてのりぶんちょうがいます。しろがまだあかちゃんだったとき、おねえちゃんのたんじょうびに、おかあさんにかってもらった。まだ、あかちゃんだったので、あつためるために、こうひいのびんにおゆをいれて、はこにいれてかっただ。えさをたべるときはおゆで、えさをぬくめて、わりばしにのせて、たべさす。えさをやるとくびのよこが、とうめいのふくろみたいなのが、ふくれてそのなかにえさがたまっているのがみえる。だんだん大きくなってくると、くびのよこが、けでかくれる。まだあかちゃんだったときは、あたまがはげだったけど大きくなると、けがはえてきた。もう大きくなったからかごにいれた。それでもう大き

とから、ついてきます。はしると、ぴいこも、はしります。そんなぴいこは、とてもかわいいでした。ぴいこが、はじめて「コケッコ。」とないたときは、みんながよろこびました。いろもしくかわりました。ぼくは、まいにちぴいこが、なくとすぐにおきました。ぼんは、いえの中へいれてねやします。おかあさんがいえにいれるのを、わすれました。あさ、おきるとぴいこがいません。おとうさんやおねえさんやぼくがさがしました。でもかえってきませんでした。ぼくとおねえさんは「うわっ。」となきました。おかあさんが「しかたがない。」というておこりました。ぼくは、大きなこえで「ぴいこのあほっ」といいました。とうとうぴいこは、かえってきませんでした。

くなって、いるからしろはとぶ。だから、そとにいかいだけにげたしろは、ながいもんがきらいだから、たかいところにしろがいたので、ものほしぎおでとろうとすると、どこかへにげた。おねえちゃんにげたから「わあん。」とないた。そうすると、はとかとおもうとしろがもどってきた。こんどは、えさをじぶんでたべるようになった。ぼくはおおきかにひっこしをした。そしてきんてつでばあとで、てのりのさくらぶんちょうとしろぶんちょうをかっただ。しろはそいつらのおやとおもって、こわいものがくると「ががががび。」とおこって、そのてのりをまもる。さくらぶんちょうのなまえはくろ。しろぶんちょうは、ちびというなまえをつけた。三びきともだすと、ちびがそこらじゅうにうんこをするので、ぼくは、はなかみでふいている。しろとくろをかごからだと、くろがしろのあとをついていく。

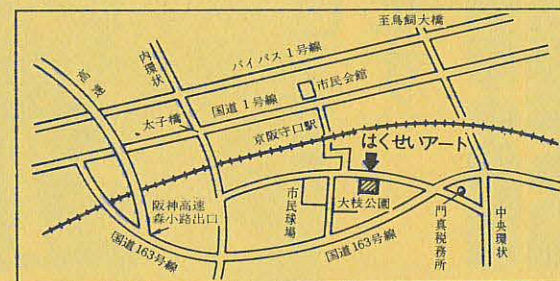
従来の剥製イメージを  
一掃!!



★各界注目の研究グループ! (TV出演)

はくせいアート

株式会社 スガワ製作所  
TEL 992-6497



グランド乾燥のパイオニア登場!!

どんな雨あがりでもすぐ試合、練習OK!!

10分でグランド、コートがカラッとします。

Hi-Dri ハイドライは独得の強力吸湿性と  
ザックリした感触で

雨後のグランドを引締め、運動技能を損う不愉快なぬめり、ベタツキを除きさっと散布するだけで晴天のようなグランドコンディションを造りあげます。



輸入販売  
株式会社

エンドル

北事務所 大阪市北区伊勢町9番地 TEL (06)364-3149  
本社 大阪府守口市東光町3丁目3番地 TEL (06)996-2245(代)

夢が広がるシヨップ・ピング…  
近鉄がお届けします

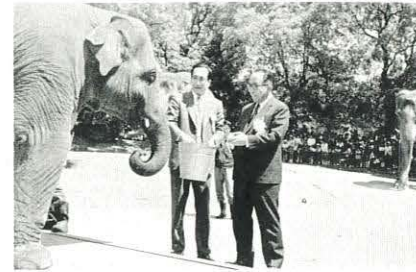


**近鉄**



動物園ニュース

☆ぞうの目方を計る会



子供ずれの父母で大にぎわいでした。計る会は午後より行なわれ順調に目方が計られました。

ゆりさんは、3650kg、ラニーひろさんは、1060kgでした。いずれも200-300kgの増加ぶりです。このようすを見ておられた大島大阪市長さんも大変ごきげんでした。万博のときにインドから贈られたひろさんも1トンをこえました。最後に市長さんと園長さんが好物のリンゴを与え今年も元気に育つようにとほげまわっていました。

☆春の動物園まつり、行なわれる



4月29日からのダイヤモンドウィークと、13日の日曜日にかけて春の動物園まつりが行なわれました。日曜祭日は、好天に恵まれて入園者も開園以来の記録的な数にのぼり、5日の子供の日には、22万人の入場者がありました。催しもの1つとして、動物パレードも行なわれ(写真)動物をかわいがりましょうとPRしました。

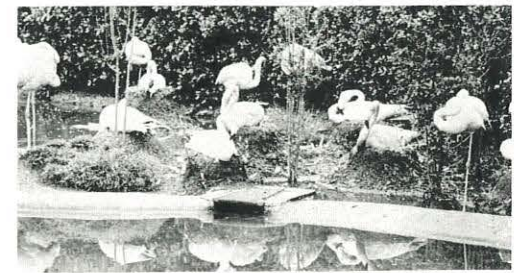
☆オランウータンの初舞台



オランウータンのユキちゃん(4才、めす)とさつきちゃん(1才半、めす)が動物園まつりの間舞台をふみました。電気自動車や三輪車のり、テーブルマナーなどをひろうして、人気を集めました。

5月5日に恒例のぞうの目方を計る会が行なわれました。好天に恵まれたこの日園内は

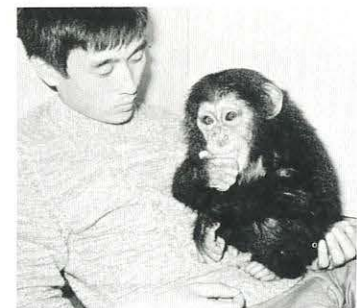
☆フラミンゴのひな誕生



今年6つの巣を泥池のまわりに作り4月初めから産卵に入り、夫々1コづつ6コの卵をあた、めていました。(写真1)そのうち、5月2日にまず1羽がふ化しました。(写真2)

昨年が2羽育鷗に成功していますので、今年は3-4羽のひなが見られると楽しみにしています。

☆チンパンジーの入園



3月末にチンパンジーが入園しました。1才のめすで、みどりちゃん、と名づけられました。

入園してしばらくは、飼育係にもなじみませんでした。だんだんと慣れてきて、写真のように抱かれて

えさをもらうようになりました。来年の春には、初舞台をふめるように調教をしています。

☆ガイドブックができました



オールカラーの美しいガイドブックがこのほどできあがりました。この秋に世界の各国の動物園長さんを迎えるためや公的なPRの意味もかねて鋭意企画中でしたが、このほど見事にできあがりました。また、写真のような案内図の入ったチラシも同時にできあがり、一般入園者の方々に利用していただいています。

なきごえ 昭和48年5月15日発行 (毎月1回15日発行) 第9巻第5号 (通巻94号)

編集 / 大阪市天王寺動物園

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所 / 株式会社 松村善進堂

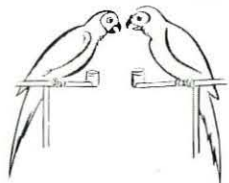
定価100円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823

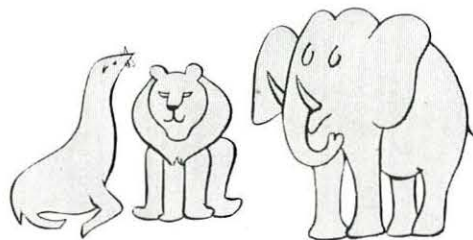
1年継続(12部)1,100円(送料共)



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517  
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の  
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



# 雪印ヨーグル

パイン・オレンジ・フルーツカクテル

各140c.c.=60円

編集委員 < 小谷 潔・林 邦彦・大野尊信・加幡一男・米田敏光・樽本 勲 >  
田上 勝・中川道朗・農本武志・松岡恵爾・深井和美・東 政宏 >